

## 会員の声

### ロシアはウクライナへの軍事侵攻（侵略）を直ちに止め、撤兵せよ！

野本 久夫

ロシアがウクライナに軍事侵攻（2月24日）してから15日も経ちました。ロシアに対して、「ウクライナ侵略を直ちに止めよ！ ウクライナから撤退せよ！ 夥しい犠牲者増は沢山だ！」と心底から抗議します。

24日にロシアがウクライナに軍事侵攻したとのニュースは、この21世紀にこんな野蛮な戦争が東ヨーロッパで引き起こされるとは私には全く信じられないことでした。しかし、実際にロシア軍の攻撃で街が破戒され、多くの人々が犠牲になり、原発の占拠もあり、野蛮な戦争です。プーチンはしかも核兵器の使用さえ言って世界を脅迫してきたのです。

ツイッターを始めて9年になりますが、2月25日からロシアの軍事侵攻（侵略）に反対、抗議するツイートが急増しています。私は「Hi ノモト」の名前で発信しています。2月28日の国連総会特別会合開催のニュースに「#ロシアの蛮行を許すな！ #ロシアはウクライナから撤退せよ！ #夥しい犠牲は沢山だ！」というハッシュタグを付けて発信しましたが、たちまち650を超えるインプレがありました。多くの市民が怒りを持ってロシアに抗議、糾弾しているのです。

今回のロシアの軍事侵攻（侵略）には一片の理もありません。ロシアが言っているのは軍事侵攻の言い訳、居直りです。国連安保理でのロシアの拒否権で決議が採択されませんでした。安保理決議は各国の義務として課されるからです。ロシアの居直りです。しかし、国連総会特別会合は141カ国の賛成でロシアの非難決議を採択しました。ロシアの孤立です

日本の衆参での国会決議、地方自治体で次々にあがる決議、各都市での抗議集会、デモ、スタンディング。ロシア国内での抗議行動が大都市で行われ、それらを軍が弾圧し、数千人が拘束されています。侵略は自国民を弾圧し、情報統制して強行されているのです。

一人ひとりが抗議行動しましょう。私はこの原稿を書いている間に、駐日ロシア大使館大使に次の抗議文を手書きしてファックス送信しました。

「私は心の底から次のことを要求します。

- ウクライナへの侵略を直ちにやめること
- ロシア軍はウクライナから撤兵すること
- 核兵器使用のプーチン発言を撤回せよ！
- 民間人の殺害をやめよ！

●ロシア国内の抗議行動・集会の弾圧をやめよ！ 』

埼玉県加須市 野本久夫」

(注： 駐日ロシア連邦大使館 ファックス番号： 03-3505-0593)

2017年7月に国連で121カ国の賛成で核兵器禁止条約が採択されました。被爆者を先頭にした核兵器廃絶をめざす原水禁運動の発展、非同盟諸国の働き、世界の市民社会が勝ち取った大きな歴史的成果です。2021年1月に発効しました。

今は大国が世界を思うがままに動かせる時代でしょうか。違います。ロシアの侵略が永続することは無理でしょうし、国際世論を大きく高めてやめさせることが今肝心です。

NATO、米韓、米比、日米安保など軍事同盟はほんのいくつかですし、軍事同盟加盟国は数十カ国です。非同盟運動に参加する国はオブザーバー国を含めて137カ国です。世界の危機の大本にある軍事同盟こそが軍事対軍事の悪循環を生んでいるのです。軍事同盟の解消・破棄が行われるべきです。

ロシアの侵略を奇貨として核共有すべきとか、憲法9条改悪を声高に叫ぶ自民、維新の言動は火事場泥棒的であり、とうてい許されるものではありません。彼らの狙いは非核三原則のなし崩しであり、核兵器保有ということにもなりかねません。

唯一の戦争被爆国・日本の政権政党、追随勢力などが言うことでしょうか。戦火のウクライナの惨状を見るにつけ、まずはロシアの侵略をやめさせるために多くの人々が立ち上がるときです。

(2022年3月10日)